

神戸大学医学部附属病院長候補者選考基準

1. 基本理念

神戸大学医学部附属病院は以下に掲げる六つの基本理念のもと、医療提供機能，教育研修機能，研究開発機能の3つの使命を果たし、臨床医学の進歩と医療技術の向上に寄与し、医療を通じて社会に貢献する。

- (1) 患者中心の医療の実践
- (2) 人間性豊かな医療人の育成
- (3) 先進医療の開発と推進
- (4) 地域医療連携の強化
- (5) 災害救急医療の拠点活動
- (6) 医療を通じての国際貢献

2. 神戸大学医学部附属病院長に求められる資質・能力

神戸大学医学部附属病院は、上記の基本理念のもと、大学病院として社会から求められる先端的な医療の開発、地域医療への貢献及び医療人の養成を行い、かつ効率的な病院経営を推進するため、管理運営機能を充実させ、その使命を果たしていく。

そのために、病院長は、人格が高潔で、学識に優れ、大学附属病院の運営に関し識見を有し、かつ以下の資質・能力を備えていることが求められる。

- (1) 医療法第10条に規定された病院の管理者として要件を満たす医師であること。
- (2) 大学附属病院の管理運営に必要な資質・能力を有すること。
- (3) 医療安全管理業務の経験並びに医療安全を第一に考える姿勢及び指導力を備え、医療安全確保のために必要な資質・能力を有する者であること。
- (4) パンデミック等の予期せぬ事態が発生した際の適切な医療体制整備及び運営に必要な資質・能力を有する者であること。
- (5) 神戸大学医学部附属病院の理念・基本方針を理解し、その実現に向けた強い意思とリーダーシップを有すること。